

# 議会だより

## 第3回揖斐川町議会 定例会

平成22年第3回揖斐川町議会定例会が、9月9日から17日までの9日間の会期で開催されました。揖斐川町新庁舎の議場で開かれた定例会初日には、町長から4件の報告案件が報告されたあと、決算案件23件を含む27議案が提出され、提案理由の説明と天羽茂喜監査委員による監査報告が行われました。このうち1議案を可決し、26議案の審査は各委員会に付託されました。同日午後、議員全員で構成する決算特別委員会で平成21年度23会計の決算審査が行われました。引き続き、3常任委員会が開かれ、付託された議案の審査が行われました。16日には、4人の議員が一般質問を行いました。最終日の17日には、付託された議案の審査結果が各委員長から報告され、採決が行われました。また、この日町長から提出された工事請負契約の締結2議案も審議され、すべて原案どおり可決されました。本定例会に提出された議案の主な内容、一般質問および答弁の要旨は次のとおりです。

### 条例案件

● 揖斐川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例  
児童扶養手当法の一部が改正されたことに伴い、所要の改正がされました。

### 予算案件

● 平成22年度揖斐川町一般会計補正予算  
1億1109万9000円が増額され、予算額を153億5277万4000円とされました。

● 平成22年度揖斐川町農業集落排水事業特別会計補正予算  
59万4000円が増額され、予算額を8億1359万4000円とされました。

### 決算案件

● 平成21年度一般会計と21の特別会計、上水道事業会計の決算が認定されました。  
決算額等については前号に掲載しました。

### 報告案件

● 地方自治法、地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、次の4件が報告されました。

● 平成21年度財団法人いびがわ事業報告及び決算の報告

● 平成21年度株式会社サンシャイン春日事業報告及び決算の報告

● 平成21年度揖斐川町財政健全化判断比率の報告

● 平成21年度揖斐川町公営企業資金不足比率の報告

### その他の案件

● 町道の路線の廃止について  
町道の1路線が廃止されました。

● 工事請負契約の締結

・ 防災センター兼揖斐川町庁舎外構造成(2工区)工事  
契約金額 8715万円

・ 揖斐川中学校北舎改築(本体建築)工事  
契約金額 3億7170万円

### 議会活動報告

#### 9月

9日 第3回定例会 初日  
9日 第7回議会運営委員会  
9日 第8回議会全員協議会  
9日 決算特別委員会  
9日 第3回総務文教常任委員会  
9日 第3回健康福祉常任委員会  
9日 第3回産業建設常任委員会  
16日 第3回定例会 2日目  
17日 第3回定例会 最終日  
17日 第9回議会全員協議会

# ここが聞きたい一般質問

**議員4人が町政を問う**

本定例会の一般質問の要旨をお知らせします。  
(紙面の都合上、質問および答弁は要約しております。)

### 清水政則議員

#### 総合計画と文化会館の新設について

新町となって5年半が経過する中、合併後のまちづくり計画重点プロジェクト3項目(地域情報・公共交通・道路の各ネットワーク)に積極的に取り組み、その成果が着実に現れてきました。第一次総合計画の前期基本計画に文化会館の整備が挙げられています。現在の中央公民館は、建設から30年以上経過し、耐震性や冷暖房、収容人員等に問題があり、町民は文化会館の整備を望んでいます。町村合併の特例で事業ができるのも4年少々となり、これの建設時期を検討されているとは思いますが、後期基本計画での方向性をお尋ねします。

### 町長

中央公民館は昭和52年1月に建設され、大ホールと本館を合わせて年間7万人近くが利用しています。しかし、老朽化により冷暖房の温度調節が効かないことや、音響や照明設

備の不足・古さは否めない事実です。耐震性の指標であるIS値は判定基準を大きく下回っています。文化の殿堂ともいえる文化会館は、質の高い芸術や文化に触れ合う機会を数多く提供し、生涯学習の拠点としても必要であると考えています。整備については、後期基本計画で実現できるよう議会、行政推進員、関係文化団体や町民の皆さんの意見を伺い、事業着手に向けて検討していきたいと考えています。

### 坪井重憲議員

#### 名鉄本揖斐駅跡地整備について

重点プロジェクトである公共交通ネットワーク整備の一環として、名鉄本揖斐駅跡地周辺整備について伺います。

- 1 上三野までできている線路跡地の道路整備は、今後どのように計画し、いつ頃整備する予定ですか。
- 2 バスロータリーは完成から月日が経っていますが、供用開始はいつですか。
- 3 変則5差路は非常に危険な箇所ですが、どのように整備する予定ですか。

### 町長

1 上三野地区まで供用を開始していますが、残りの線路跡地は、長良から清水地区にかけて都市計画道路、大野・揖斐川線の道路敷地の一部として取り込み、国道303号のバイパス機能を持った道路として活用できるように、県と連携して進めています。

### 坪井重憲議員

#### 養老鉄道揖斐駅周辺整備について

養老鉄道揖斐駅周辺は、懸案の駐車場・駐輪場・トイレが整備され、環境が一変しました。しかし、駅南側に予定されている町営住宅の建設に伴い、周辺一帯を計画的に開発する必要がありそうですので、次の3点についてお尋ねします。

- 1 駅前ロータリーと国道417号のアクセスは危険で交通渋滞が起きているようですが、これを解消するためにどのように整備しますか。
- 2 無料駐車場の整備はどのように考えていますか。
- 3 養老鉄道を存続させるため、全町民をあげて活動するシステムが必要だと思いますが、見解を伺います。

### 町長

1 交通渋滞の緩和について  
2 無料駐車場について  
3 町営住宅の建設に向けて詳細な計画を進めています。これにあわせて駅周辺道路の拡幅、出入口の計画なども含め、安全性、利便性を満たした駅前周辺整備計画を地元の方々と協議しながら、全

### 林幹夫議員

#### 揖斐川町の観光地について

町の活性化は観光客や山里体験などで町外の人を受け入れる流入人口の増加対策以外にないと思います。町内各地の観光地としての開発をどのように進めるか、私の考えを提議し対処を伺います。

- 1 魅力を感じる徳山ダム対策  
ダムを訪れた人で、再度訪れたいと感じなかった人が多くいます。観光地としての魅力を持たせるには、遊覧船を導入したり、釣りや食べる楽しさを提供する観光産業を構築する必要があると思いますが、見解を伺います。
- 2 揖斐高原の通年型への再開発  
スキー人口の減少などから、冬型施設から通年型施設への転換が必要と思いますが、再開発についての見解を伺います。
- 3 伊吹薬草を觀賞できる薬草園の設置  
伊吹山系は薬草の宝庫で、鑑賞する愛好家が増えています。減反農地を活用し薬草の生産と鑑賞が

できる施設を整備すれば活性化に役立つと思いますが、見解を伺います。

4 特色をもった谷汲山門前まちづくり

納めの札所から脱皮する意識改革から始めるまちづくりが門前街復興の源となると確信しますが、再興の方策をお尋ねします。

5 揖斐祭り屋台会館の設置

揖斐祭りの屋台は、祭りの期間しか見ることができません。屋台会館を設置して年間を通して見学できれば観光客を呼ぶ格好の目玉になると思います。設置についての見解を伺います。

**町長**

1 徳山ダムへの観光客ですが、イベント期間中は道の駅への来客も増え、相乗効果が現れています。揖斐川水源地域ビジョンでは、水源地域の魅力を活用した産業振興を中核プロジェクトの一つに位置付けており、自然環境の保全と観光産業の両立を図る方向で推進したいと考えています。

2 スキー場の存廃については2年前から久瀬地域審議会で検討されています。今後はスキー場の運営や老朽化した施設の見直しを図るとともに、シーズンを通して利用できる施設への転換を検討したいと考えています。

3 かがすがモリモリ村に伊吹山麓の薬草を移植して薬草園を整備し、長者の里森の博物館では伊吹薬草組合の貴重な資料を展示していま

す。隣接の森の染織工房では春日の薬草を使った薬草染め体験教室を開設しています。これらの取り組みを広く情報発信し、薬草文化の普及啓発に努めたいと考えています。

4 谷汲山華厳寺は町の重要な観光スポットですが、観光客は減少傾向にあります。このようなか、平成18年に地元の人たちで組織された「門前町並みづくり委員会」がさまざまな取り組みをしています。平成19年からは県職員による「まちづくり支援チーム」の派遣を受け、委員会の活動に支援をいただいています。町も、家屋の景観や参道整備などの支援を行っており、魅力ある観光地づくりを進めたいと考えています。

5 岐阜県重要有形民俗文化財に指定されている揖斐祭りの5両の「芸やま」を見ていただけるのは揖斐祭りの期間中だけです。町並みウォーキングなどの行事には蔵の公開をお願いします。今後も今まで以上に公開をお願いします。ていきたいと考えています。

**林 幹夫議員**

**文化会館の新設について**

中央公民館は、空調・照明・音響機能が不調で収容人員も700人と少ない難点があります。文化会館の新設は、中学生議会でも提案があったように、住民の大半が希望しています。建設場所は、揖斐総合庁舎西のヘリポートあたりが最適だと思います。文化会館が新設されたら中央

公民館は揖斐祭り屋台会館として再活用できると思いますが、見解を伺います。

**町長**

清水議員にお答えしたように、文化会館の新設については、議会、行政推進員、文化関係団体や町民の皆さんの意見を十分に伺いながら検討していきたいと思っています。

**小倉昌弘議員**

**学童保育について**

小学校3年生までとされてきた学童保育の対象を6年生まで引き上げるようお願いしてきたところ、4年生まで拡充されました。また、以前は、夏休み中の学童保育の子はプールに入れませんでした。今年から利用できるようになり、保護者から喜びの声を聞いています。しかし、対象を6年生まで拡充することは必要なこと。特に、夏休みや冬休みなど1日中子どもだけを家に残しておくことは親にとつて大変心配なこと、そのために仕事を辞めたとか、働く時間を短くしたという人もいます。担当課長の見解を伺います。

**教育委員会次長(学校教育課長)**

学童保育は児童福祉法で対象を概ね10歳未満の児童と示され、西濃管内の市町の多くが小学校3年生までとしています。揖斐川町は、平成20年度から小学校1年生から4年生までを対象として実施しています。小学校高学年は中学校生活を見据え、家庭生活を設計する力を養うことも

大切です。家庭学習に取り組んだり、読書に親しんだりなど児童自身が自ら考え行動できるようにするのも教育の役割です。一方、5・6年生まで対象を拡充してほしいという需要も高まっていますので、長期休業中における対象の拡充について検討していきたいと考えています。

**小倉昌弘議員**

**岐阜県消防操法大会について**

健康広場にアスファルト舗装をして岐阜県消防操法大会が開催されました。アスファルトの上で行うことは、町長が言われる「操法大会は消防団員の士気の向上、消防技術を高めるために行う」という趣旨とは関係ないのではないですか。土のグラウンドではいけないのですか。1日の大会のためだけにあれだけの舗装をすることは無駄遣いだと思いませんか。舗装してまた元に戻すのにいくらかかったかお尋ねします。

**町長**

大会は県と県消防協会の主催で揖斐郡消防協会が運営し、郡3町が均等に負担をしています。主催者をはじめ関係当局は、雨天の場合の影響を最小限に抑え、出場団に平等な環境を提供するなど、万全を期すため総合的に検討し、アスファルト舗装の会場で行うという結論に至ったと聞いています。舗装と撤去の費用は約450万円と聞いています。議員の意見は協会にも伝えていきたいと思っています。